

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		精神行動科学研究		石原 武士
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
(1) 薬物療法および非薬物療法に対する治療反応性の解析から、青年期以降の発達障害の病態と治療を理解する。 (2) 認知行動療法/行動療法への治療反応性の解析から、強迫性障害の病態と治療を理解する。				
授業到達目標				
(1) 思春期・青年期の精神障害の成因と臨床症状について説明できる。 (2) 気分障害の成因と治療について説明できる。 (3) 成人期の発達障害について説明できる。 (4) 強迫性障害の臨床的特徴及び治療について説明できる。 (5) 摂食障害の成因と臨床症状について説明できる。 (6) 認知機能障害を含む高齢者の精神症状について説明できる。 (7) 精神障害の臨床薬理学について説明できる。 (8) 精神障害への認知行動療法/行動療法について説明できる。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
隔週	木	17:30 - 18:30	宮崎 哲治	学習理論の精神科臨床への応用について（応用行動分析学，行動療法）
隔週	金	17:30 - 18:30	石原 武士	(1) 精神障害の臨床薬理学について (2) 認知症を持つ患者の心理的ケアについて (3) せん妄の成因及びケアについて
毎月	第 1, 3 火	17:30 - 18:30	村上 伸治	(1) ピアジェの発達論について (2) 知的障害について (3) 発達障害について
毎月	第 2, 4 木	17:30 - 18:30	和辻 健太	(1) 心身症について (2) 身体疾患における精神症状について
隔週	水	17:30 - 18:30	高橋 優	(1) 摂食障害について (2) パーソナリティ障害について
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題（レポート等）に対するフィードバック				
中間発表の抄録作成時に、指導・助言を行う。				
教科書				
ISBN-9781451100471, Kaplan & Sadock's comprehensive textbook of psychiatry (10th Edition), Benjamin J. Sadock MD et al., Lippincott Williams & Wilkins, 2017				
参考書				
ISBN-9781118381885, Rutter's child and adolescent psychiatry (6th Edition), Anita Thapar, et al., Wiley-Blackwell, 2015				
準備学習（予習・復習等）				
研究内容をその日のうちに記録する。記録については、効率に配慮し、30分～1時間程度でまとめ、簡潔に説明できるようにしておくことが望ましい。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
卓越した研究成果をあげ、精神科学の深い学識を獲得する。				
注意事項・メッセージ				
できるだけ多くの文献（英語文献を含む）に触れ、自ら学ぶ姿勢が望まれる。実臨床での応用を目指した研究を心がける。				